

## 2016 年度 社会学科 2 年次ガイダンス内容 (2016. 4. 2)

### 学科の教員紹介

#### ■ 1. 社会学科のカリキュラム構成 (2012~2015 年度入学者)

- 学年別の学習目標 ★87 ページ (学部共通)
- 社会学科で学ぶことのできる分野は次の 5 領域から構成されている。 ★102 ページ
  - ①理論と方法 ②自己と関係 ③生活と人生 ④公共性と政策 ⑤構造と変動
- 履修モデル例 ★105 ページ

#### ■ 2. 2 年次の学びにおけるポイント

○2 年次教育の位置づけ：社会学の基礎を固めると同時に、3、4 年次のより専門的な研究の世界へ入るための準備期である。必修科目は次の二科目である。

- ①社会学部共通必修科目 「社会調査法 3」(春学期)
- ②学科必修科目 「専門演習 1」(春学期)

○「専門演習 1」と「専門演習 2」の選考について

##### (1) 「専門演習 1」 ★90 ページ

「希望アンケート」を参考にして社会学科が振り分けるので「希望アンケート」を 4/4 (月) 17:00 までに教務事務センターレポートボックスに提出すること。未提出者は社会学科が機械的に振り分ける。

##### (2) 2016 年度「専門演習 2」の選考 ★90 - 91 ページ (学部共通)

- ・選考に向けて、どのゼミに自分が希望を出すかを考えられるように履修計画をたて、自分の関心を深めてほしい。他学科のゼミに応募することも可能 (ただし、若干名。第一次選考時のみ)。
- ・3 年次以降ゼミに所属するかどうか、4 年次に卒論を書くかどうかで大学生活の充実度はまったく違う (卒論のテーマは、社会学部が毎年刊行している『応用社会学研究』に掲載されている)。
- ・社会学科は、「専門演習 2」および卒業論文作成のそれぞれを選択科目としているが、両者を教育の中心と位置づけており、できる限り全員が「専門演習 2」を履修することを推奨している。
- ・具体的な選考スケジュールは 9 月下旬に発表されるので見逃さないこと。
- ・履修資格 (重要！)

3 年次に進む時点で、必修科目の「基礎演習」「社会調査法 1」「社会調査法 2」「社会学原論 1」「社会学原論 2」の 5 科目 10 単位を修得済みでなければならない (= 単位が足りなければ「専門演習 2」の内定は取り消される！)

### ■ 3. 履修計画をたてるにあたっての学科からのアドバイス

○卒業するための2つのコースについて

- (1) 「専門演習2」(3年次) + 「卒業論文演習1・2」(4年次) + 「卒業論文」(4年次)  
\* 「専門演習2」の担当教員が一貫して指導をする。 ★91-94 ページ (学部共通)
- (2) 「卒業研究1・2」(4年次) ★94-96 ページ (学部共通)

\*3年次に「専門演習2」を履修しなかった学生、または3年次に「専門演習2」を履修したものの、「卒業論文」を執筆しないという選択をした学生

○学部共通の選択科目について ★119 ページ

学部共通科目の選択科目は合計で12単位(6科目)の履修が卒業要件となっているが、このうち6単位(3科目)は必ず社会学科科目を履修しなければならない。★97-98 ページ

○学部英語科目に関するアナウンス

・学部英語科目(学部共通科目) ★101 ページ

\*導入的科目から Academic Writing の科目まで充実した英語科目の開講。2年次から履修できるので、積極的な履修を推奨する。人数制限科目(抽選登録)なので、申込期間に注意すること。

・現代社会研究(A・B・C・D)は招聘教員が英語で授業をするクォーター科目(週2回授業)で、春学期にAとB、秋学期にCとDが開講。2年次履修可科目である。★100 ページ

○重複履修できる科目に関するアナウンス

・学部共通自由科目(領域横断科目)にある現代社会研究(A~F)、「震災のフィールドワーク」は毎年講義内容が違うので、重複履修ができる。★88 ページ

\*未定となっている「現代社会研究E」の担当者は須永将史先生、「現代社会研究F」は2016年度に休講。

\*「震災のフィールドワーク」は人数制限科目であるので、履修申込方法 ★46 ページ  
履修希望者は該当ページを読み、4月6日(水曜)17時までに申し込むこと。

○方法論科目の履修についての学科からのアドバイス

・4年次の卒業論文/卒業研究レポートの執筆に先立ち、できる限り3年生次後期までに、量的データの分析のためには「社会統計学(学部共通)」「多変量解析(学部共通)」「社会調査演習(学部共通)」、質的データの分析のためには「質的調査法(学部共通)」「データ対話型分析法(学科科目)」を履修しておくことが望ましい。なお、社会情報教育研究センター(CSI)がSPSSの講習会を年に数回開催しているので、参加希望者はCSIのHP等をチェックすること。

○アカデミック・アドバイザー ★42 ページ

・「専門演習1」の担当教員が専任教員の場合は、その教員がアカデミック・アドバイザーになる。兼任講師が担当の場合は次の通り。

藤本ゼミ：松本 康、福重ゼミ：野呂 芳明、余田ゼミ：小倉 康嗣(春学期)・村瀬 洋一(秋学期)、橋迫ゼミ：奥村 隆、中西ゼミ：西山 志保、金ゼミ：李 旻珍

○社会学部の交換留学プログラム

- ・ソウル市立大学都市科学部都市社会学科交換留学プログラム(2008年より派遣・受入実績あり)
- ・モナシュ大学人文学部 (Faculty of Arts, MONASH University) 交換留学プログラム (2015年に交流協定締結)
- ・天主教輔仁大学伝播学院 (College of Communication, FU JEN CATHOLIC University) 交換留学プログラム (2015年に交流協定締結)

\*毎年大学ごとに2~4人派遣、半年か、1年の在学留学の扱いになる。

\*春学期と秋学期に派遣留学説明会を実施するので、関心のある学生は学部のホームページや掲示板に注意しておいてください。

○社会学部の短期海外研修プログラム (Short-term Study Abroad Program in Sociology)

- ・2017年度より開始予定
- ・実施場所：オーストラリア・シドニー
- ・プログラムの詳細や募集について2016年度中に説明会を予定しているので、関心のある学生は、学部のホームページや掲示板に注意しておいてください。